

市長とのタウンミーティングで出された意見(要旨)

テーマ	提案内容	提案への取組方針	担当課
<p>ワクワクする夢のあるまち ～子どもが夢を語り、大人も挑戦できるまちをめざして～</p>	<p>困っている人の声など、いろいろな人の声を伝える仕組みが欲しい。 今困っていることを伝えても、7年後に解決では遅いと思う。</p>	<p>「いろいろな人の声を伝える仕組み」として、市役所開庁時間内であれば、各事業の所管部署窓口等で直接ご意見をお聴きします。また、開庁時間外でも、市ホームページの「各課への問い合わせ」や「和泉市を元気にするアイデア」などを通じてご意見をお伝えいただく方法がありますので、ご利用ください。</p>	<p>広報・協働推進室</p>
<p>ワクワクする夢のあるまち ～子どもが夢を語り、大人も挑戦できるまちをめざして～</p>	<p>子どもの絵をマンホール・壁画・バス停などに活用したり、古い建物を、夢を追う若者や親子の拠点に再生したり、市民が自分の夢を書いて葉っぱに吊るす常設モニュメントをつくるなどにより、「夢を感じる」まちの風景をつくる。</p>	<p>貴重なご意見いただき誠にありがとうございます。</p>	<p>政策企画室</p>
<p>ワクワクする夢のあるまち ～子どもが夢を語り、大人も挑戦できるまちをめざして～</p>	<p>興味・性格診断で「あなたに合う夢」を提案する市オリジナルアプリをつくる。</p>	<p>貴重なご意見いただき誠にありがとうございます。</p>	<p>政策企画室</p>
<p>ワクワクする夢のあるまち ～子どもが夢を語り、大人も挑戦できるまちをめざして～</p>	<p>夢や地域貢献につながる事業(カフェ開業、商品開発、アートプロジェクトなど)に少額でも支援したり、空き店舗・公共施設を使い、市民や企業が新しいアイデアを試せる実験スペースを提供する。また、地元企業と連携して、地域プロジェクトへの参加を認める仕組みづくり。</p>	<p>市内で新たに創業する人を対象に家賃、改装費、広告宣伝費の一部を補助する事業を実施しております。また、ものづくりに携わる事業者に対し事業の実施場所の提供や事業者の育成の支援を行うため産業振興プラザを設置し産業振興及び地域経済の発展に努めております。本補助金や施設の更なる活用のため周知PRに努め、新たに創業する人や事業者を支援できるような努めていきます。</p>	<p>産業振興室</p>
<p>ワクワクする夢のあるまち ～子どもが夢を語り、大人も挑戦できるまちをめざして～</p>	<p>クラウドファンディングを活用して、住民の夢プロジェクトを行政や企業がマッチング支援する。</p>	<p>自治体が実施するクラウドファンディングについて、一部の市直営事業や補助事業において活用を行っています。クラウドファンディングは、財源確保を行いつつ、事業のプロモーションも行える手段となりますので、今後も有効的な活用方法を検討していきます。</p>	<p>産業振興室</p>
<p>ワクワクする夢のあるまち ～子どもが夢を語り、大人も挑戦できるまちをめざして～</p>	<p>子どもが夢を話すカフェイベントを大人が応援したり、子どもや大人の「やってみたい」を発信するオンライン・地域メディアの活用など、夢を語ることもに対して、地域の大人がサポートとして伴走できる仕組みづくり。</p>	<p>「和泉市子どもまんなか計画」の基本方針2において「地域のみんなで子どもを育む」ことを掲げています。本方針では子どもが様々な遊びや体験活動を経験することは重要であり、就学前教育・保育や学校などだけでなく、地域組織や民間団体と協力し、その機会を保障して「いくこととしていますので、今後も、本方針に基づいた取り組みを進めていきます。</p>	<p>子育て支援室</p>
<p>ワクワクする夢のあるまち ～子どもが夢を語り、大人も挑戦できるまちをめざして～</p>	<p>乳幼児のサポートは充実していると思うので、学齢期以上のサポートを増やしてほしい。</p>	<p>市の子どもまんなかセンターでは、妊娠前から子育て期まで、乳児の家庭訪問や乳幼児健診を通じて、子どもや妊産婦の健康状態に応じた支援を行っています。また、育児やしつけに関すること、子どもの発達の遅れや気になる言動等、おもに就学以降の子育てに関する様々な相談に、社会福祉士や公認心理師等が対応しています。引き続き、関係部局と連携し、学齢期の相談窓口や支援メニューの充実や、地域のニーズに合わせた支援を進め、子どもが健やかに成長できる環境づくりに取り組んでいます。</p>	<p>子育て支援室 健康づくり推進室</p>
<p>ワクワクする夢のあるまち ～子どもが夢を語り、大人も挑戦できるまちをめざして～</p>	<p>運転手の不足などで路線廃止になっているとのことであるが、そうであるならば、これを逆手にとって「和泉市を歩きやすいまち」にできれば良いと思う。</p>	<p>市では、第4次健康都市いずみ21・食育推進計画に基づき、健康都市いずみの実現を目指して健康づくりや食育推進に取り組んでいます。歩きやすいまちづくりは、生活習慣病の予防や運動習慣の定着につながる身近な運動として「歩くこと」を普及させるための大切な取り組みです。関係部局と連携しながら、ウォーキングイベントなど、楽しみながら健康活動を続けやすい仕組みを進めていきます。</p>	<p>健康づくり推進室</p>
<p>ワクワクする夢のあるまち ～子どもが夢を語り、大人も挑戦できるまちをめざして～</p>	<p>地元の街を3D空間で再現し、子どもが未来のまちをデザイン。</p>	<p>和泉市のHPの「いずみマップ」において、3D都市モデルをご覧いただけます。データの活用については、引き続き研究していきます。</p>	<p>都市政策室</p>
<p>ワクワクする夢のあるまち ～子どもが夢を語り、大人も挑戦できるまちをめざして～</p>	<p>小学校の給食をもっと美味しくできればと思う。</p>	<p>学校給食の献立は、必要となる栄養価を摂取できるよう、栄養教諭が作成しており、毎月の食育献立として各都道府県の郷土料理を取り入れるなど、献立の充実や給食を通じた食育活動の推進に努めています。今後も、引き続き子どもたちのためにより良い給食を提供していきます。</p>	<p>学校園管理室</p>
<p>ワクワクする夢のあるまち ～子どもが夢を語り、大人も挑戦できるまちをめざして～</p>	<p>連絡ツールなどをうまく使ってデジタル化を進めるべき。 学校では、まだ紙主体でお知らせなどがある。 デジタル化を進めるにあたり、iPadも良いがパソコンも検討してほしい。</p>	<p>PCやタブレットなどの端末形態、複数のOSの性能や特徴を比較検討し、全員がスムーズに授業等で活用しやすい「起動や動作の速さ」や「直感的な操作性」、「端末本体の軽さ」を理由として、令和7年9月から、iPadを導入しました。 和泉市立学校では、保護者用連絡ツールを導入し、「欠席連絡」や「おたよりの配付」を行っています。今後、本ツールを積極的に活用し、さらにデジタル化を進めていきます。</p>	<p>学校教育室</p>
<p>ワクワクする夢のあるまち ～子どもが夢を語り、大人も挑戦できるまちをめざして～</p>	<p>小中学生が、自分の夢や将来やってみたいこと、地元の企業・お店・職人取材した内容をステージなどで発表したりして、それに対して市長や地域企業がコメントや応援メッセージを送る。また、ここで出たアイデアなどを市が実際に採用する。</p>	<p>将来の和泉市について自分の考えを提案する機会として、小学生を対象とした子ども議会や中学生を対象とした生徒会サミット等を実施しています。また、各学校ごとに、楨尾学、商店街活性化プロジェクトなど子どものアイデアの実現に向けて、地域や企業と協働してキャリア教育に取り組んでいます。</p>	<p>学校教育室</p>
<p>ワクワクする夢のあるまち ～子どもが夢を語り、大人も挑戦できるまちをめざして～</p>	<p>「交通が不便な地域がある」ということをメリットと捉えて、「歩くことで健康になれるまち」などをめざしてはどうか。 電柱等に二次元コードを設置して、読み取ることでその場所の紹介文(例えば楨尾学園の「楨尾学」など)が出たり、ポイントが獲得できたりするなどと面白い。 「面白い」から続けることができ、続けることで「体の調子が良くなり、気づいたら健康になる」仕掛けができれば良いと思う。</p>	<p>市では、第4次健康都市いずみ21・食育推進計画に基づき、健康都市いずみの実現を目指して健康づくりや食育推進に取り組んでいます。歩きやすいまちづくりは、生活習慣病の予防や運動習慣の定着につながる身近な運動として「歩くこと」を普及させるための大切な取り組みです。関係部局と連携しながら、ウォーキングイベントなど、楽しみながら健康活動を続けやすい仕組みを進めていきます。</p>	<p>健康づくり推進室</p>
<p>ワクワクする夢のあるまち ～子どもが夢を語り、大人も挑戦できるまちをめざして～</p>	<p>コストをなるべくかけずに美術館に人を集めようとなると、なかなか難しい(集客するなら、鑑賞以外のアクティビティをどうするか次第だと思う)。むしろ、「出張する美術館」のように、美術館を「場所」より「仕掛け」として街に溶け込ませた方が「美術館のあるまち」のコンセプトには合っているのではないだろうか。 だとすると、重要なのは、収蔵品や物理的空間をそのまま分散させるのではなく、美術館が持つ「地域の文化的アイデンティティ」や「コンセプト」をバラバラにして、街や施設のあちこちに散らばせること。いわば「美術館のフラグメント」をばら撒く感じ。 まずは、公営の図書館や公民館、学校…なんでも良いから、そこにゆるいアートの受け皿や参加型の活動を置いて、気づいたら市民の生活に馴染んで、そんな状態をつくる。ただし、これは行政が「やってやる」だけじゃ絶対に続かないし広がらない。地域のアーティストや市民、子どもたちを巻き込んで、一緒に文化を作るのがミソ。市民自体が関わることで地域の誇りと愛着が醸成されていく。 また、このような取り組みを継続するには、熱量に加えて「(プロジェクトマネジメントや地域連携に関する)ノウハウ」を持ったキーパーソンであるのが望ましいと思う。</p>	<p>市の「第5次和泉市総合計画」の基本方針では、「定住志向の向上」、「交流人口の拡大」、「人や企業から選ばれる都市」の実現を掲げており、その具体的な取組の一つとして「美術館のあるまち」としてブランド化を図るため、平成29年2月に「和泉・久保惣ミュージアムタウン構想」を策定して、取組みを進めています。この取組みを進める一環として、地元イラストレーター等の地域住民で構成している和泉・久保惣ミュージアムタウンコンソーシアムと行政が連携して、パブリックアート散策やアートコンクール等、アートを生かした魅力的なまちづくりに取り組んでいます。効果的に事業展開を図るには人材の確保が課題でありますので、どのような方法があるのか先進事例等を情報収集していきます。</p>	<p>久保惣記念美術館</p>

市長とのタウンミーティングで出された意見(要旨)

テーマ	提案内容	提案への取組方針	担当課
美術館のあるまち ～和泉・久保惣ミュージアムタウン構想のさらなる発展をめざして～	半日、1日楽しめる美術館に。 レストランなど、周辺を含めて楽しい空間にできれば良い。 周辺のイベントに合わせて美術館でもイベントを実施するなどではどうか。	市では美術館を中心とした概ね半径2km圏内を和泉・久保惣ミュージアムタウンとして位置づけ、アートを活かしたまちの魅力づくりに取組んでいます。その取組みの一環として美術館と連携したアートコンクールや壁画アートワークショップ、いずみ万博散策ツアーなどの各種イベント開催に取組んでいます。今後も引き続き連携したイベント開催に向けて検討を進めていきます。	久保惣記念美術館
美術館のあるまち ～和泉・久保惣ミュージアムタウン構想のさらなる発展をめざして～	広報・PRをもっとするべき。 今回のタウンミーティングで館内見学をしたことで、久保惣記念美術館に良い作品があることがわかった。所蔵品についてもであるが、デジタルミュージアム・講座もしていることを知ってもらうために、駅前でPRやラッピングバス・アートバスを走らせるなどではどうか。また、SNSも活用していくべき。	美術館では広報いずみでの情報発信に加え、SNS(インスタグラム、X)で有料広告も含めて積極的なPRに取組んでいます。また、今年度からは国内最大級のプレスリリース配信サービス(PR TIMES)での情報発信を行っています。ラッピングバス等については費用対効果も含めて検討していきます。	久保惣記念美術館
美術館のあるまち ～和泉・久保惣ミュージアムタウン構想のさらなる発展をめざして～	交通便利(アクセス)に難ありなので、無人のEVバスなどの活用を考えてはどうか。 また、交通手段について、バス(コミュニティバスめぐ～る)などの自動車にこだわることなく、自転車(レンタルサイクル)や徒歩(ウォーキング)で来てもらうのもありでは。 徒歩であれば、アートガッシュなど、自動車では気づきにくい「まちの風景」が見えてくるかもしれないし、ついでに健康になれると思う。	市では商業施設、観光施設等への交通アクセスの利便性の向上を図り、来訪促進事業の推進に資することを目的に和泉サイクルシェアを行っており、このサイクルポートを美術館前に設置しております。また、和泉中央駅から美術館までの道のりに広がる様々なアートを取り上げた散策マップ(アートでおさんぽMAP)を用意していますので、是非ご利用ください。無人のEVバスについては市場の動向を注視していきます。	久保惣記念美術館
美術館のあるまち ～和泉・久保惣ミュージアムタウン構想のさらなる発展をめざして～	音声ガイド(多言語であれば尚良し)の導入。	音声ガイドの導入は、訪れる皆様に美術館の展示品をより深く、興味を持って楽しんでいただくための有益な取り組みであると考えます。費用対効果も含めて導入に向けて検討を進めていきます。	久保惣記念美術館
美術館のあるまち ～和泉・久保惣ミュージアムタウン構想のさらなる発展をめざして～	展示説明などが日本語中心のため、多言語で掲示してはどうか。	インバウンドの来館実績を踏まえて必要性を検討していきます。	久保惣記念美術館
美術館のあるまち ～和泉・久保惣ミュージアムタウン構想のさらなる発展をめざして～	人手不足で管理ができないなどの課題はあると思うけれど、羊公園を復活させて、ランチできるなどであれば良いと思う。	子育て世代や若い世代の来館を促す取組みが重要と考えており、今年度は公園が賑わう夏休み期間中にあわせて「こどもデー」を開催し、約250人のお子さまにご来館いただきました。公園に遊びに来られた方も利用できる場所にキッチンカーを設置するなど、美術館と公園と一緒に盛り上がるようなイベントを検討していきます。	久保惣記念美術館
美術館のあるまち ～和泉・久保惣ミュージアムタウン構想のさらなる発展をめざして～	館内のバリアフリー化。	この度は貴重なご提案をいただきありがとうございます。美術館の大規模リニューアル工事の際に検討していきます。	久保惣記念美術館
美術館のあるまち ～和泉・久保惣ミュージアムタウン構想のさらなる発展をめざして～	何回も久保惣記念美術館に訪れてもらうためには「はじめの1回目」が重要。 初回割引や年間バスポートを導入したり、有名な人の講演会・演奏会を開催することでそのきっかけづくりをしてはどうか。また、2回目以降はなにか「特別な体験」ができるようにするなど。	1年間で開催する全ての展覧会に来館を促す取組みとして、展覧会スタンプラリー(プレゼント企画)を企画する予定です。	久保惣記念美術館
美術館のあるまち ～和泉・久保惣ミュージアムタウン構想のさらなる発展をめざして～	他の美術館とも連携して「博礼」のようなものを導入してはどうか。こどもはスタンプラリーのような感覚で楽しめると思う。	「博礼」のような仕組みを導入することで、美術館への訪問がより喜びや楽しさを伴うものになる、という視点は大変共感できます。企画を検討するうえでまずは先進事例の情報収集から進めていきます。また、展覧会スタンプラリー(プレゼント企画)を企画する予定です。	久保惣記念美術館
美術館のあるまち ～和泉・久保惣ミュージアムタウン構想のさらなる発展をめざして～	アクセスは重要だと思うので、バスやタクシーの割引があれば良いと思う。 和泉府中駅から遠いので、直行バスやラッピングバスを走らせる、バスツアーを開催するなど。	令和3年度、令和4年度に和泉府中駅から美術館までの直通シャトルバス(運賃100円)を期間限定で実施しましたが、費用対効果の観点から継続が出来ませんでした。今後も市場ニーズを踏まえて検討していきます。	久保惣記念美術館
美術館のあるまち ～和泉・久保惣ミュージアムタウン構想のさらなる発展をめざして～	所蔵品をテーマにした「久保惣記念美術館の特別弁当」をつくってはどうか。 これを館内で食べることができれば良いと思う。	他館等の先進事例有無も含めて情報収集を進めていきます。	久保惣記念美術館
美術館のあるまち ～和泉・久保惣ミュージアムタウン構想のさらなる発展をめざして～	託児所やキッズルームがあると、保護者の人がゆっくり美術館を見ることができるようになる。	美術館内の限られたスペース内で新たに設置することは難しい状況ですが、他館等の先進事例有無も含めて、情報収集を進めていきます。	久保惣記念美術館
美術館のあるまち ～和泉・久保惣ミュージアムタウン構想のさらなる発展をめざして～	ガチャガチャや顔はめパネルを設置する。	ガチャガチャや顔はめパネルを試行的に設置できないか検討していきます。	久保惣記念美術館
美術館のあるまち ～和泉・久保惣ミュージアムタウン構想のさらなる発展をめざして～	例えば、カフェだけの利用でも、来館者が増加するのではないか。	令和2年度よりカフェの営業はコロナ禍と運営スタッフ不足により終了しています。カフェの運営形態・スペース・衛生管理等で課題を有しており、再開が可能かどうかも含めて検討していきます。	久保惣記念美術館
美術館のあるまち ～和泉・久保惣ミュージアムタウン構想のさらなる発展をめざして～	今の美術館は、来館者の年齢層も高いが、訪問する数居も高いと感じる。 「アートがあるまち」として親しみを持ってもらうのであれば、こどもの時から親しむことや若い世代に興味を持ってもらう企画が必要。例えばアニメや猫をテーマにするなど。	若い世代を対象にした展覧会やイベント開催に向けて検討していきます。	久保惣記念美術館
美術館のあるまち ～和泉・久保惣ミュージアムタウン構想のさらなる発展をめざして～	久保惣記念美術館のYouTubeチャンネルがあるということを知らなかったのも、もっとPRしていくべき。 市の広報番組で「学校」を取り上げた企画をやっていたときは、こどもと一緒に見ていた。 見てもらえるYouTubeチャンネルにするには、そのような企画をやるか、有名人(例えば声優やVtuber)に出演してもらうなどが必要では。	YouTubeの美術館チャンネルをご覧いただきありがとうございます。更なるYoutubeのPRや企画については今後検討していきます。	久保惣記念美術館